



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月11日

上場取引所 名

上場会社名 コムシード株式会社
コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長
四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

(氏名) 羽成 正己
(氏名) 小倉 誠

TEL 03-5289-3114

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	541	△7.4	△10	—	△13	—	△78	—
27年3月期第2四半期	584	65.2	33	—	27	—	24	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△15.25	—
27年3月期第2四半期	5.23	5.02

(注)28年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	745	—	520	—	—	69.6
27年3月期	748	—	392	—	—	52.4

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 518百万円 27年3月期 392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	7.2	50	△49.9	45	△52.1	20	△81.7	3.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)1株当たり当期純利益の予想値は、平成28年3月期第2四半期における期中平均株式数を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	5,195,995 株	27年3月期	4,790,400 株
28年3月期2Q	— 株	27年3月期	16,600 株
28年3月期2Q	5,126,132 株	27年3月期2Q	4,633,811 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

我が国のインターネット環境は、この10年間で全世代において利用率が上昇し、中でもスマートフォンの保有率が上昇する中、現在では若年層だけでなく高齢者に至るまで、スマートフォンを介したネット環境が浸透しております。そのような中で、当社の主力事業であるゲームビジネス市場も、スマートフォンをベースにしたものが主流となりつつあります。

当第2四半期会計期間において、当社は引き続きスマートフォン向けゲームアプリケーションの提供を中心に事業を展開しております。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高につきましては既存事業のソーシャルゲーム『グリパチ』が順調に推移したものの、当第2四半期会計期間にリリースを計画していた新規スマートフォンゲームの開発遅延及び、開発中パチスロシミュレーターアプリの実機販売計画変更に伴うリリース延期によって、複数の新規タイトルが下半期へずれ込んだ影響で、前年同期を下回りました。

利益面につきましては、新規タイトルのリリース延期および一部既存タイトルにおける売上不振の影響、資金調達に伴う営業外費用の発生から、営業損失、経常損失を計上することとなりました。

また、スマートフォン向けゲームアプリの一部タイトルにおいて、サービス自体の開発中止が発生したこと、また別のタイトルでは当初計画していた収益性との乖離が発生したことにより、各資産グループについて固定資産の減損処理を実施し特別損失に減損損失を計上したこと、加えて繰延税金資産の一部を取崩したことにより、四半期純損失を計上することとなりました。

以上の結果、売上高は541,399千円(前年同期比7.4%減)、営業損失10,720千円(前年同期は営業利益33,183千円)、経常損失13,589千円(前年同期は経常利益27,481千円)、四半期純損失78,178千円(前年同期は四半期純利益24,226千円)となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

- ① ソーシャルゲームについては、バーチャルホール『グリパチ』を中心に、既存サービスの強化を実施いたしました。『グリパチ』においては定期的な新規アプリの投入やイベントの実施などが功を奏し、当第2四半期会計期間で、会員数が約17万人ほど増加いたしました。一方で、新規ソーシャルゲームについては仕様の変更や不具合の修正に時間を要し、サービス開始が遅延しております。
- ② パチンコ・パチスロ系スマートフォンアプリについては、第1四半期会計期間にリリース予定であったアプリの遅延を挽回すべく開発を進めてまいりました。一部の有力タイトルについてはリリースまでこぎつけたものの、開発中アプリの実機販売計画変更に伴うリリース延期などの影響により、当第2四半期会計期間で完全に遅れを取り戻すには至りませんでした。
- ③ スマートフォンネイティブアプリについては、売上を見込んでいた一部タイトルにおいてリリースが当初予定より大幅に遅延した影響もあり、ユーザー継続率及び課金率が想定を下回りました。一方で、引き続き新規タイトルの開発を進行しており、現在複数タイトルが開発中となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末から3,058千円減少し、745,310千円(前事業年度末比0.4%減)となりました。

これは、主に流動資産で現金及び預金32,997千円、その他15,336千円が増加し、受取手形及び売掛金35,984千円が減少し、固定資産で無形固定資産9,788千円が減少したことによるものです。

② 負債

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末から131,629千円減少し、224,345千円(前事業年度末比37.0%減)となりました。

これは、主に流動負債で未払法人税等5,514千円、その他15,056千円の減少と、固定負債で転換社債型新株予約権付社債100,000千円、長期借入金8,334千円の減少によるものです。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末から128,571円増加し、520,964千円(前事業年度末比32.8%増)となりました。

これは、主に第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使、第三者割当による増資、第4回新株予約権の行使に伴う株式の発行により、資本金102,476千円、資本剰余金102,476千円が増加し、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金78,178千円の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同四半期と比べ70,097千円増加し、346,605千円(前年同四半期比25.4%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は4,144千円(前年同四半期比84.8%減)となりました。

これは、主に資金の増加要因として減価償却費16,455千円、減損損失60,320千円、売上債権の減少35,984千円があったものの、資金の減少要因として税引前四半期純損失73,910千円、仕入債務の減少12,431千円、その他25,888千円、法人税等の支払額6,949千円があったことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は58,835千円(前年同四半期比444.8%増)となりました。

これは、主に無形固定資産の取得による支出58,635千円があったことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は95,977千円(前年同四半期比48.9%減)となりました。

これは、主に株式の発行による収入99,825千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入5,082千円の増加と、長期借入金の返済による支出8,334千円の減少によるものです。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月6日の「業績予想の修正並びに特別損失の発生及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	313,607	346,605
受取手形及び売掛金	239,951	203,967
商品及び製品	5,827	4,219
仕掛品	—	2,795
原材料及び貯蔵品	2,857	2,503
その他	29,346	44,682
貸倒引当金	△21	—
流動資産合計	591,569	604,774
固定資産		
有形固定資産	18,588	16,337
無形固定資産	91,927	82,139
投資その他の資産		
その他	46,284	42,060
投資その他の資産合計	46,284	42,060
固定資産合計	156,800	140,536
資産合計	748,369	745,310
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,607	97,883
1年内返済予定の長期借入金	16,668	16,668
未払法人税等	8,969	3,454
その他	81,172	66,116
流動負債合計	207,417	184,122
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	100,000	—
長期借入金	16,664	8,330
退職給付引当金	10,269	10,269
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
その他	2,427	2,427
固定負債合計	148,557	40,223
負債合計	355,975	224,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,975	784,452
資本剰余金	113,084	215,561
利益剰余金	△402,906	△481,084
株主資本合計	392,153	518,929
新株予約権	240	2,035
純資産合計	392,393	520,964
負債純資産合計	748,369	745,310

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	584,489	541,399
売上原価	376,252	356,370
売上総利益	208,236	185,029
販売費及び一般管理費	175,052	195,749
営業利益又は営業損失(△)	33,183	△10,720
営業外収益		
受取利息	18	38
貸倒引当金戻入額	567	—
業務受託料	—	660
その他	0	0
営業外収益合計	585	698
営業外費用		
支払利息	414	265
支払手数料	391	863
株式交付費	—	2,438
社債発行費	5,482	—
営業外費用合計	6,287	3,567
経常利益又は経常損失(△)	27,481	△13,589
特別損失		
減損損失	—	60,320
特別損失合計	—	60,320
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	27,481	△73,910
法人税、住民税及び事業税	3,254	1,095
法人税等調整額	—	3,172
法人税等合計	3,254	4,268
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,226	△78,178

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	27,481	△73,910
減価償却費	9,374	16,455
減損損失	-	60,320
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△559	△21
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△132	-
受取利息及び受取配当金	△18	△38
支払利息	414	265
株式交付費	-	2,438
社債発行費	5,482	-
売上債権の増減額(△は増加)	△39,767	35,984
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,067	△833
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,722	△12,431
前払費用の増減額(△は増加)	△10,828	99
長期前払費用の増減額(△は増加)	△5,250	583
破産更生債権等の増減額(△は増加)	567	-
その他	15,356	△25,888
小計	△24,535	3,024
利息及び配当金の受取額	18	38
利息の支払額	△404	△257
法人税等の支払額	△2,426	△6,949
法人税等の還付額	3	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,344	△4,144
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△200
無形固定資産の取得による支出	△10,800	△58,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,800	△58,835
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△8,334	△8,334
株式の発行による収入	-	99,825
株式の発行による支出	-	△2,438
新株予約権の行使による株式の発行による収入	99,720	5,082
新株予約権付社債の発行による収入	94,517	-
新株予約権の発行による収入	1,735	1,842
財務活動によるキャッシュ・フロー	187,639	95,977
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	149,494	32,997
現金及び現金同等物の期首残高	127,013	313,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	276,508	346,605

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

平成27年4月8日付で、株式会社サイカンが保有する第2回無担保転換社債型新株予約権付社債について権利行使がなされ、資本金が50,000千円、資本準備金が50,000千円増加し、平成27年6月11日に株式会社サイカンから第三者割当増資の払込みを受け、資本金が49,912千円、資本準備金が49,912千円増加しました。

また、当社は第4回新株予約権の行使に伴い、前事業年度末から当第2四半期会計期間末までに資本金が2,564千円、資本準備金が2,564千円増加しました。

この結果、当第2四半期累計期間において資本金が102,476千円、資本準備金が102,476千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が784,452千円、資本準備金が215,561千円となっております。

3. 補足情報

設備投資の計画

前事業年度末において計画中であった重要な設備の新設計画について、当第2四半期累計期間に著しい変更があったものは、次のとおりであります。

①重要な設備計画の変更

事業所名 (所在地)	事業部門の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定年月		完成後の増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (東京都千代田区)	全社	ソフトウェア	70,000	66,648	自己資金	平成27年 1月	平成27年 11月	ソーシャルゲーム のサービス開始

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 仕様の変更等により、投資予定金額を変更し、完了予定年月を延期しております。

②重要な設備の新設計画

事業所名 (所在地)	事業部門の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定年月		完成後の増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (東京都千代田区)	全社	ソフトウェア	15,000	—	自己資金	平成27年 9月	平成27年 12月	ソーシャルゲーム のサービス開始

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。